

ラリー・ウィリアムズの「マチュピチュトレード」

これは S&P500 の売り戦略です。E-miniS&P500 先物を 9 月の残存取引 ● 日 (9 月 ● ● 日) の寄付で売ります。コンピューターは賢くはなく、独自にトレードできません。あくまで、最適な売りポイントです。この日を前に売るときもあり、また、そのあとで売るときもあります。これがトレーディングの芸術的な側面です。しかし、この時期にはっきりとした下降バイアスが存在しています。どれくらい強い傾向なのか? 過去 21 年間 21 勝と全勝しています。ストップは 2500 ドルです。検証では、残存取引 ● 日 (9 月 ● ● 日) も素晴らしい結果になっています。S&P500 が残存取引 ● 日 (9 月 ● ● 日) 辺りから下降する傾向がとても強くなっています。

<Machu Picchu><マチュピチュ>

Williams Timing Sells Strategy TDLIM: TradingDaysLeftInMonth	All: Net Profit	All: Gross Profit	All: Gross Loss	All: Total Trades	All: % Profitable	All: Winning Trades	All: Losing Trades	All: Max Winning Trade	All: Max Losing Trade
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									

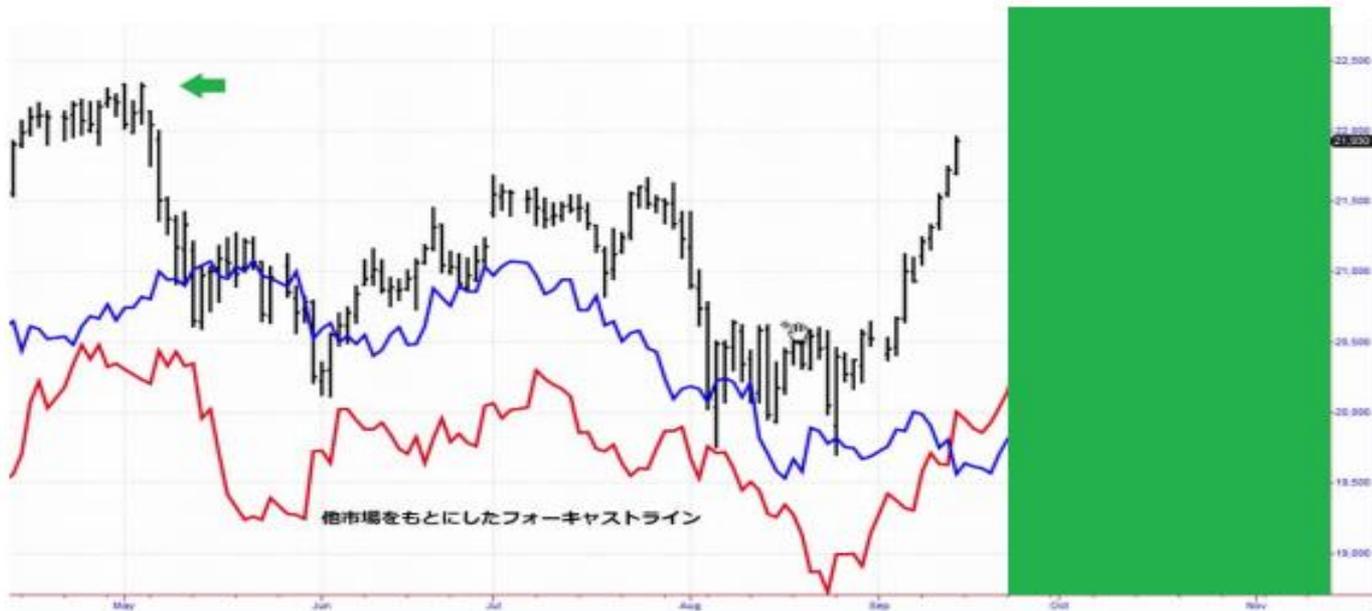
MACHU PICCHU TRADE: ES

出所:ラリー・ウィリアムズの週刊マーケット分析(ラリーTV)2019年9月16日 ラリー・ウィリアムズおよび国内代理店パンローリングの掲載許可をとって掲載。有料レポートのため、チャートおよび文章の一部を隠しています。 1

ラリー・ウィリアムズの日経平均予測

2019年9月14日収録のラリーTVテキスト版(Beta版)

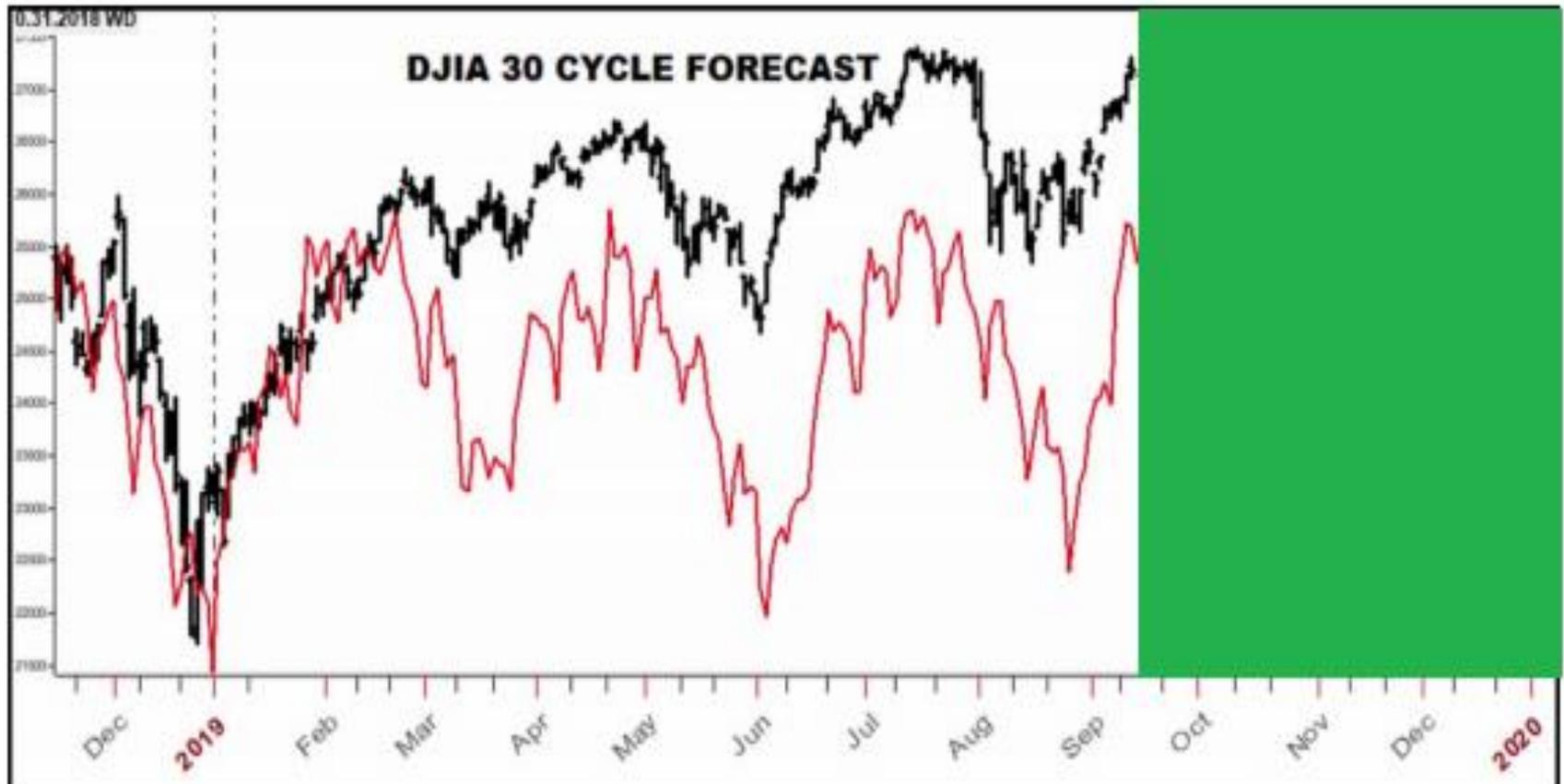
<nikkei><日経平均>



数週間前に、フォーキャストラインをラリーTVで公開しましたが、想定通りに、日経平均は上げてきています。フォーキャストラインをご覧ください。かなり精度が高く、事前に動きを予測しています。日経平均も高値を更新していくと思います。具体的なターゲットはありません。おそらく、矢印のポイント辺りでしょう。ロングを保持してください。過去2日、3日間の最安値にストップをおください。そのまま、上昇波に乗ってください。

出所：ラリー・ウィリアムズの週刊マーケット分析（ラリーTV）2019年9月16日 ラリー・ウィリアムズおよび国内代理店パンローリングの掲載許可をとって掲載。有料レポートのため、チャートおよび文章の一部を隠しています。

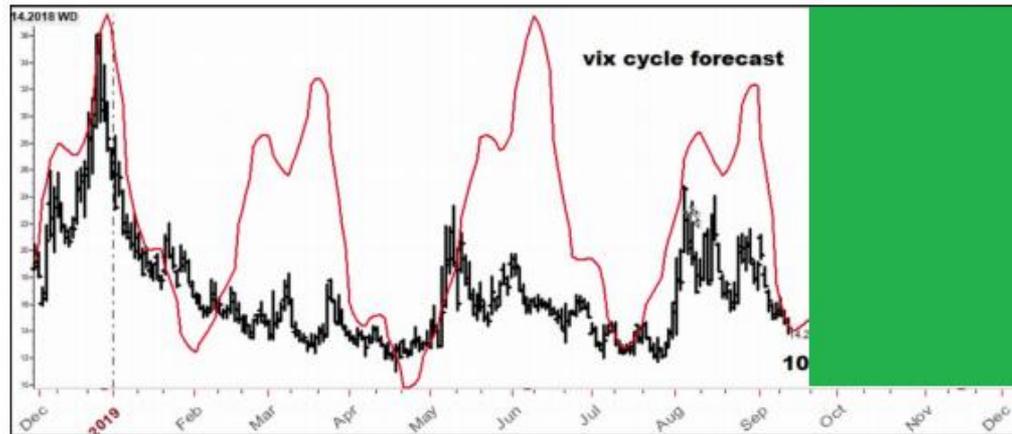
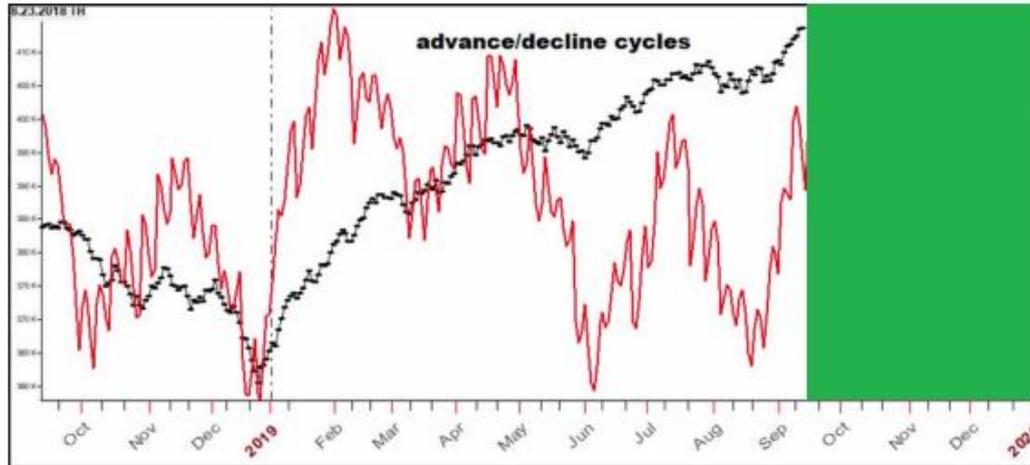
ラリー・ウィリアムズのNYダウ予測



出所：ラリー・ウィリアムズの週刊マーケット分析（ラリーTV）2019年9月16日 ラリー・ウィリアムズおよび国内代理店パンローリングの掲載許可をとって掲載。有料レポートのため、チャートおよび文章の一部を隠しています。

ラリー・ウィリアムズのS&P500とVIX予測

<sp><S&P500>



出所:ラリー・ウィリアムズの週刊マーケット分析(ラリーTV)2019年9月16日 ラリー・ウィリアムズおよび国内代理店パンローリングの掲載許可をとって掲載。有料レポートのため、チャートおよび文章の一部を隠しています。

ラリー・ウィリアムズの週刊マーケット分析



ラリー・R・ウィリアムズ (Larry R. Williams)
50年のトレード経験を持ち、世界で最も高い評価を受ける短期トレーダー。リアルマネーコンテスト、ロビンスワールドカップにて、史上最高の成績となる1年間で11400%を超えるリターン（114倍）の公式記録をもつ。全米先物協会の理事を務め、モンタナ州から上院議員選挙に2度出馬。トレーダー教育の第一人者としても知られ、プロアマを問わず、世界中の成功した人たちの考え方に、ラリーの理論の影響を強く見ることができる。

ブログ「石原順の日々の泡」

<https://ishiharajun.wordpress.com/>

石原順の日々の泡

FX・株式・債券・先物市場分析

おすすめ

石原順（西山孝四郎）の出演番組・メルマガ・DVD・書籍

石原順のメルマガ『マーケットの極意』



グローバリゼーションからバルカニゼーションへ

ニューヨーク大学教授ヌリエル・ルービニ

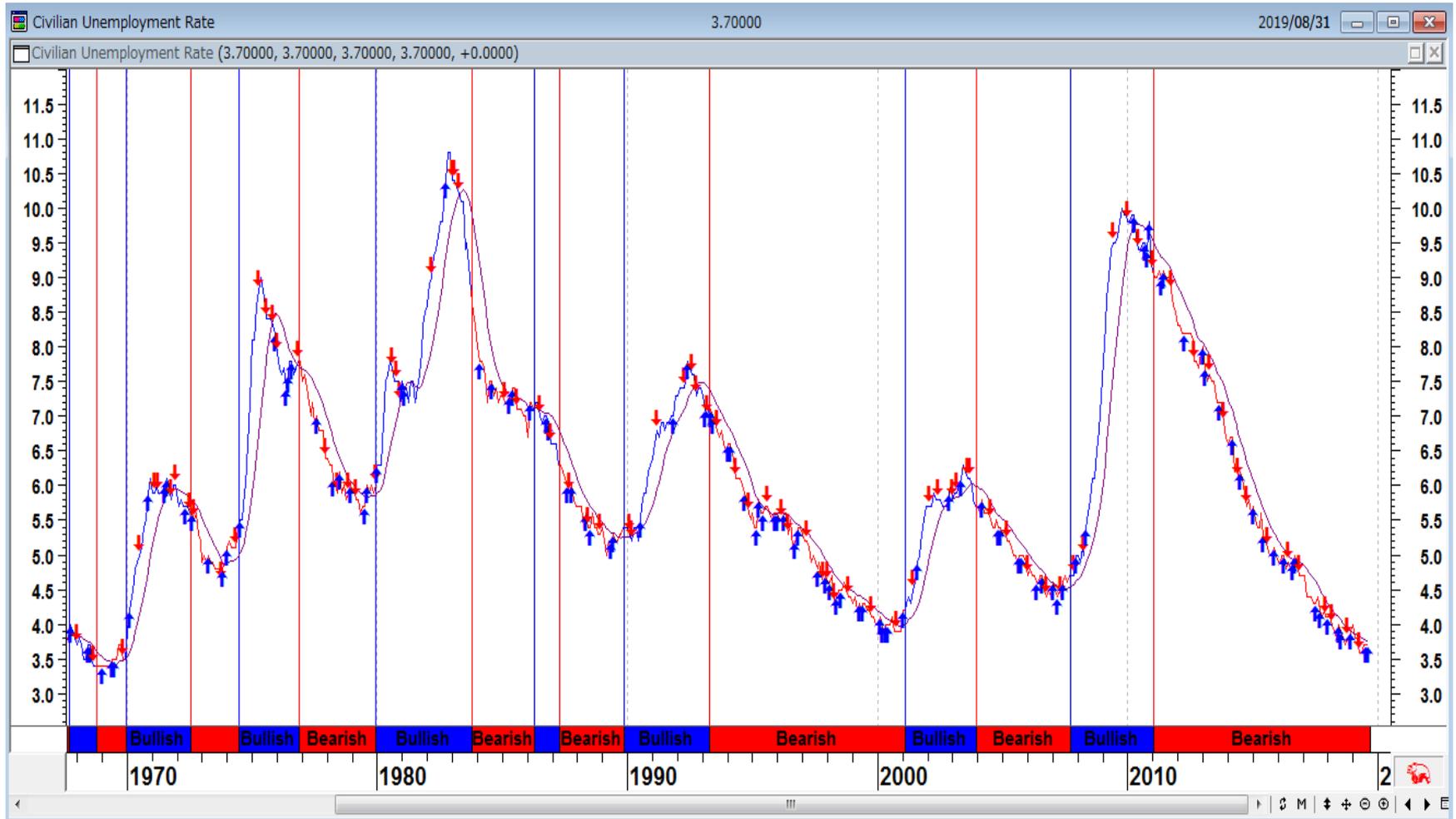
- **最も重要なのは、もしフルスケールの貿易、通貨、冷戦が米中で起きれば、われわれはグローバリゼーションがバルカニゼーションしている過程を目撃することになるだろう。**
- **世界的なサプライチェーンは、いわゆる米中とはディカップリングし、30年にわたって続いてきたグローバリゼーションではなく、世界経済が分断し、モノとサービス、資本、労働力、そしてテクノロジーやデータや情報のやり取りは制限されることになる。**
- **これは世界的な統合とグローバリゼーションの時代から、脱グローバリゼーション、バルカニゼーションへと変わる世界経済のレジームチェンジだと思う。私が思うに、われわれの背後にあるこうしたリスクの要素を人々は過小評価しているのだろう。**

不景気到来の10のステップ

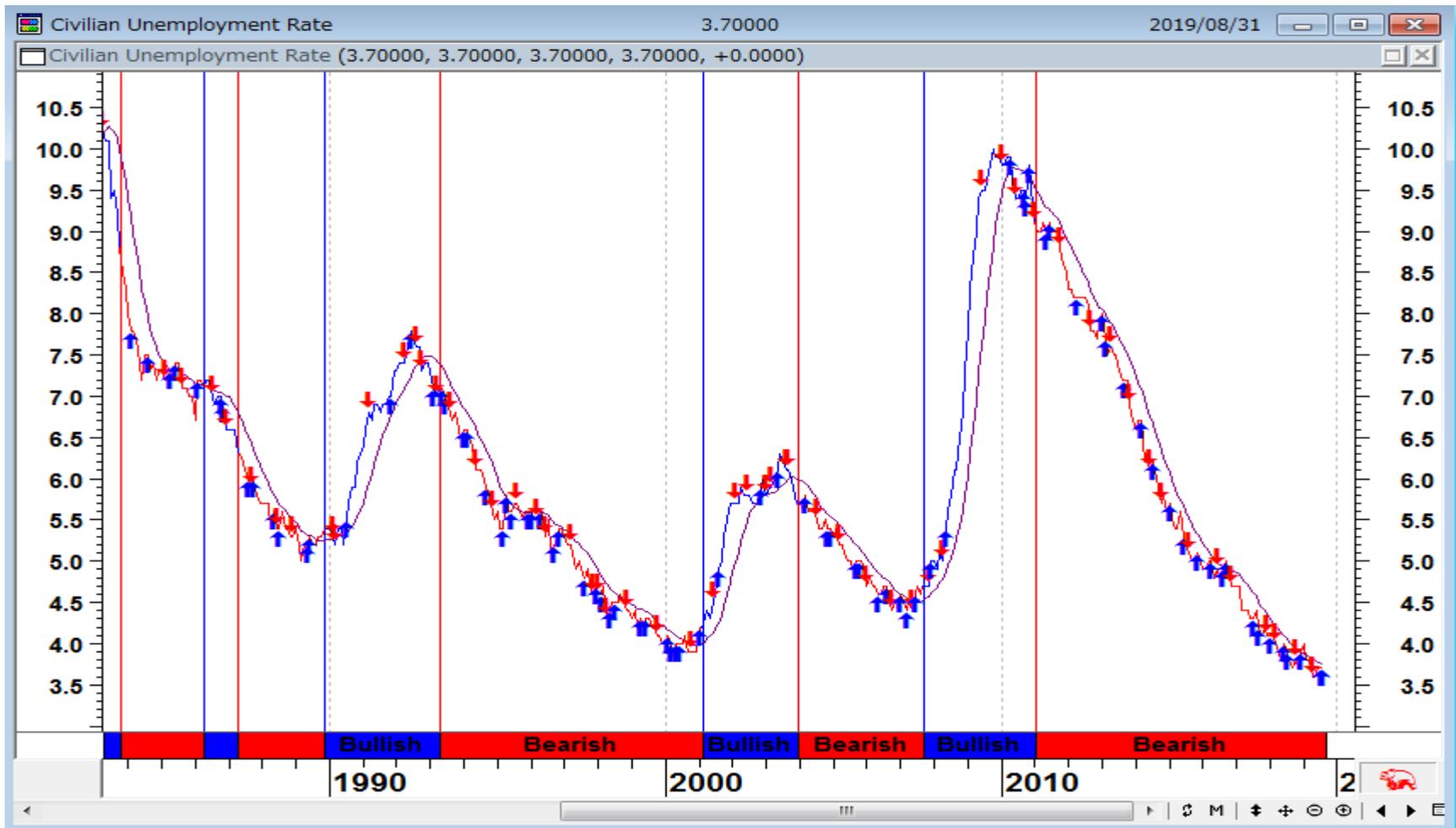
- グッゲンハイムインベストメントは、今年の年初に2019年～2020年の米国経済予測と不景気到来の10のステップを発表した。現在は③まで進行中である。

- ①FRB利上げ停止
- ②米国株式市場が新高値をとる
- ③債務の拡大とレバレッジの拡大
- ④労働市場のひっ迫からFRBが利上げを再開
- ⑤インフレ懸念で長期金利が3%台に上昇
- ⑥利上げで設備投資や住宅投資が鈍化し消費も低迷
- ⑦景気後退入り（2020年）
- ⑧スプレッド拡大でジャンク債市場が混乱
- ⑨借入コスト上昇・ジャンク債のデフォルト率が上昇。
- ⑩米国の政治的分断

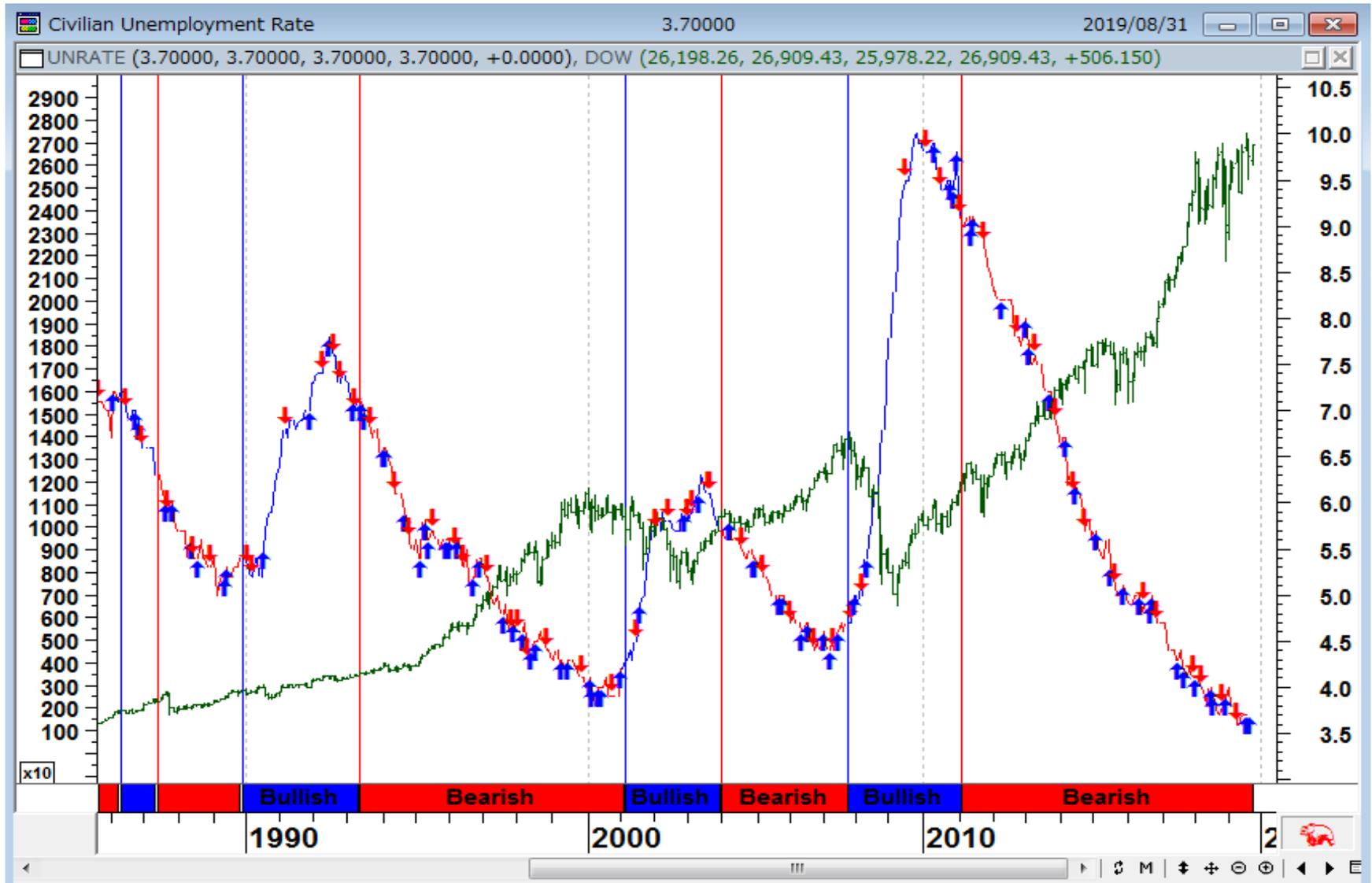
米国の失業率と景気拡大・縮小シグナル (1968年～2019年)



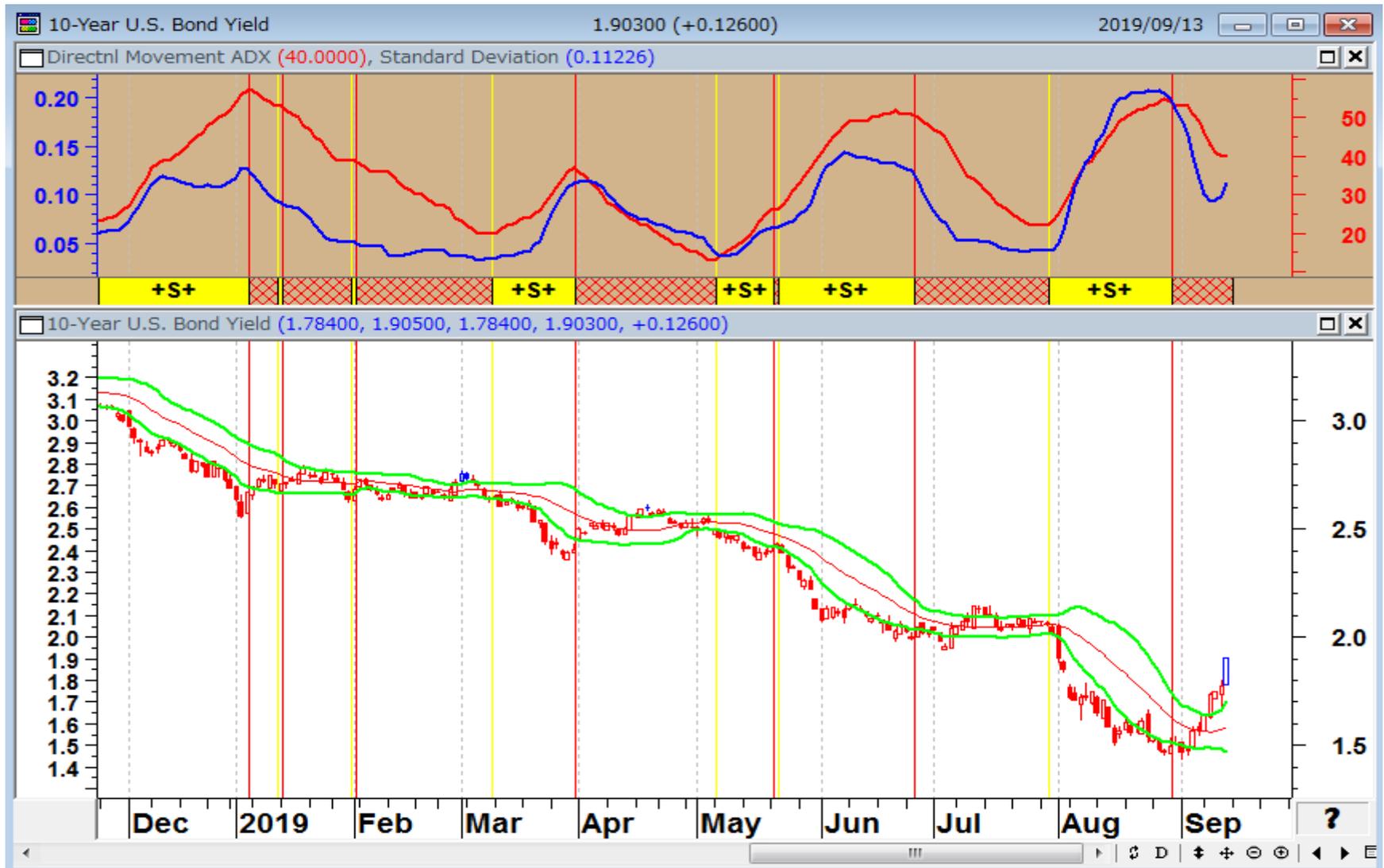
米国の失業率と景気拡大・縮小シグナル (1984年～2019年)



米国の失業率と景気拡大・縮小シグナルとNYダウの推移

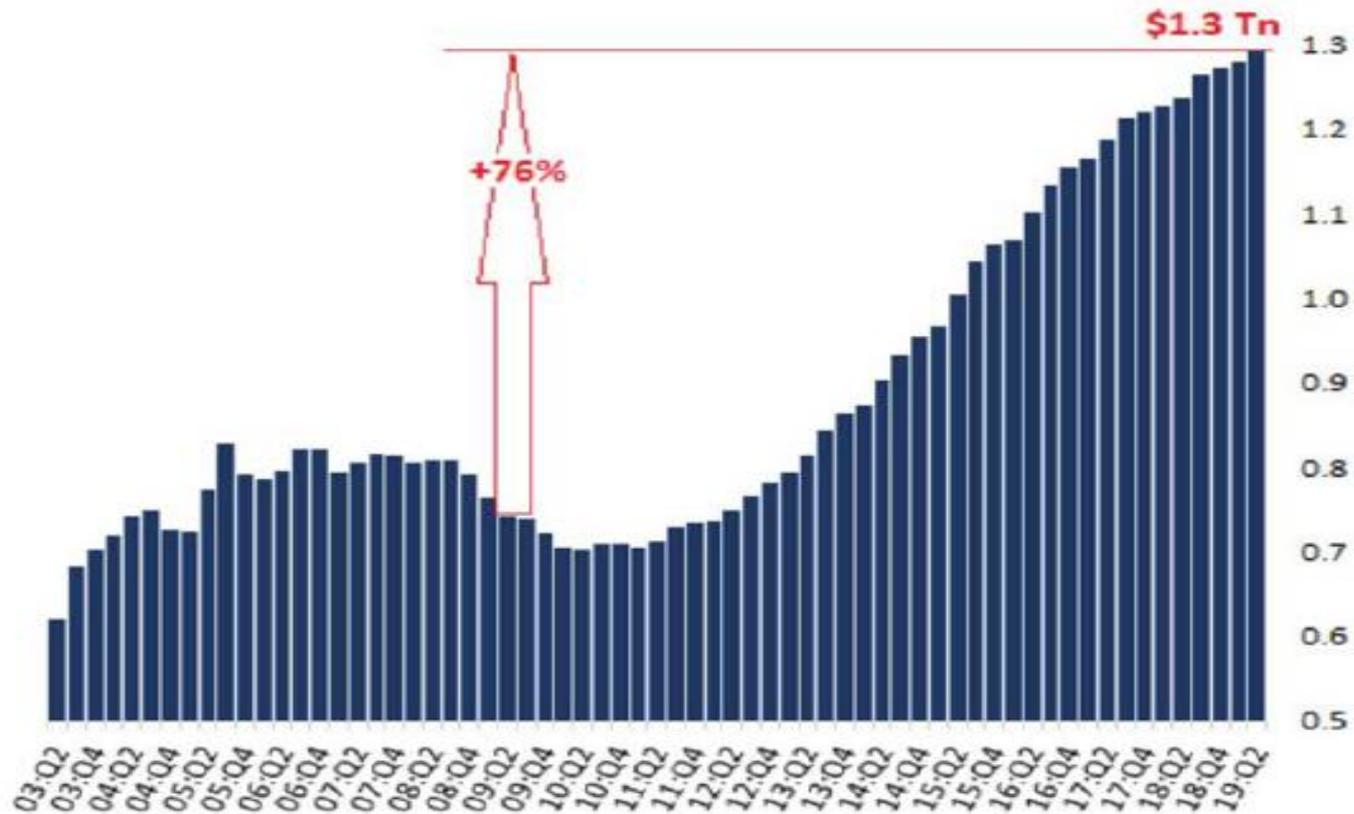


米10年国債金利 (日足)



金利が上がるとドルなるか？

図 10 自動車ローン残高 (兆ドル、2003—19)

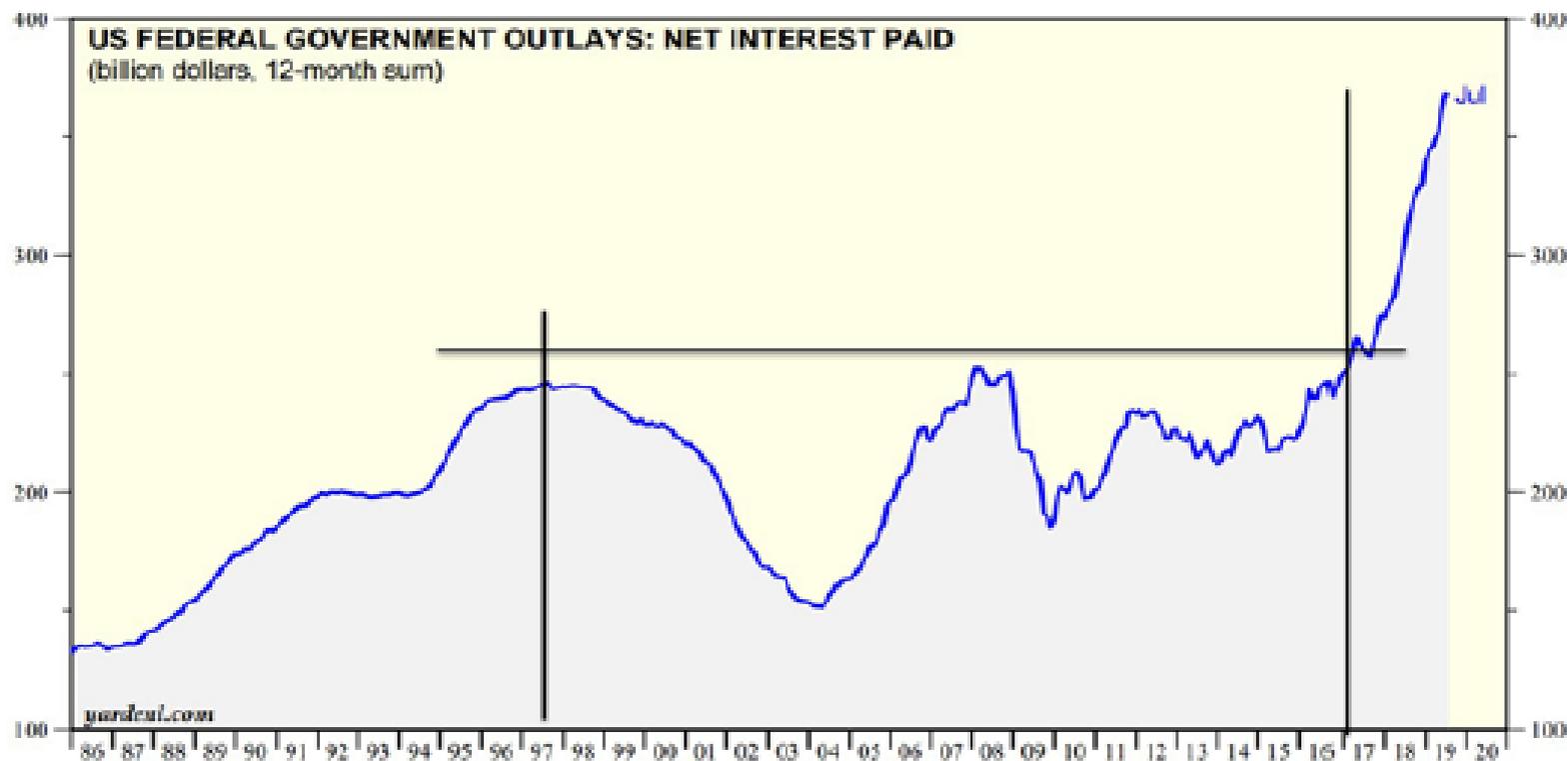


出所：Federal Reserve of New York, Wolf Richter, www.wolfstreet.com

出所：マーク・ファーバー博士の月刊マーケットレポート（パンローリング）

米国政府の純払い費

図 11 米国政府の純利払い費（十億ドル、1986—2019）



出所：US Treasury Department, Ed Yardeni, www.yardeni.com

出所：マーク・ファーバー博士の月刊マーケットレポート